

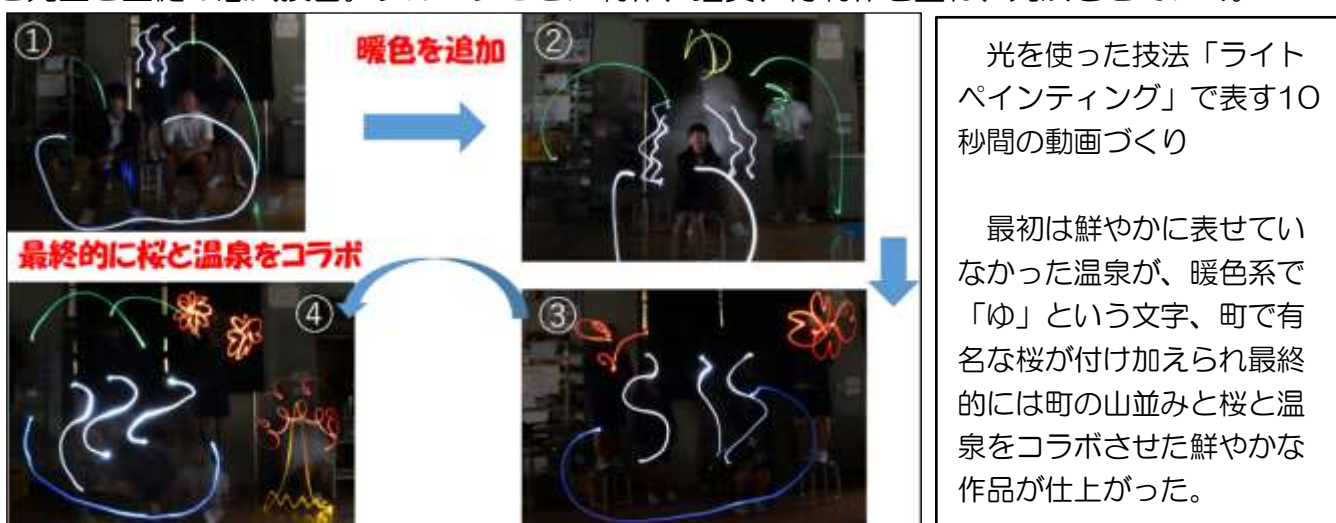
はにい 「美術で町を活性化」

平成30年12月21日

「自分たちの町のこと、どう思ってる？」中学校3年の美術科担当の先生が問いかける。「店が少ない」「田舎」「ゲームセンターがない」「ファミレスもない」「電車が1時間に1本」「不便」「早く出たい…」と生徒たち。

「町をPRするような映像をつくってみない？まずは、町のよさを見つめ直そう」
ここから学習が始まった。

「町に残る古きよきもの、人を楽しませてくれる自然、そこをアピールする動画にしよう！」と先生と生徒の意気投合。グループごとに制作、鑑賞、再制作を重ね、完成させていく。



① ② ③ ④

暖色を追加

最終的に桜と温泉をコラボ

光を使った技法「ライトペインティング」で表す10秒間の動画づくり

最初は鮮やかに表せていなかった温泉が、暖色系で「ゆ」という文字、町で有名な桜が付け加えられ最終的には町の山並みと桜と温泉をコラボさせた鮮やかな作品が仕上がった。

作品を文化祭で発表。中学生の視点で表現した町のよさを、地域の人とも共有した。

生徒からは、「この町は本当に故郷。自然もいっぱいあるし、人も優しい。美術でPRできたから、町の人たちももっといろいろな手段でPRしていったらいいと思った」。地域の人からは、「中学生があらためて地元のよさを見つけてくれてうれしい」という感想。

文化祭の後、町の人から「商店街の雰囲気をもっと明るくしたい。シャッターに絵を描いてくれないか」と依頼があった。

次の美術の題材は、「インスタ映えするシャッターのデザイン」。現在、出来上がったデザインを町の商店街の人たちに見てもらい、どれを実際にシャッターに描くのか検討中だ。



『はにい』はコミュニケーションツールです。みんなで語り合しましょう。

ご意見・ご感想は → inochi4027@pref.kanagawa.jp